

台湾産食糞コガネムシ解説〔5〕

益 本 仁 雄

A Revision of the Coprophagid-beetles from Formosa〔5〕

By Kimio MASUMOTO

(Received Aug. 25, 1977; Accepted Sept. 29, 1977)

前回の解説の中で *Aphodius* (*Phalacrothous*) *avunculus* BALTHASAR としたものはやはり新種であったので、*Onthophagus* 1種および *Rhyssemus* 1種とともに、巻末にて新種記載を行なうこととした。

1-2 *Oxyomus* マルマグソコガネ属

前属によく似るが、上翅の縦条は稜状に高まり、両側のもは基部に達し、間室は平圧され、そこに横長のやや大きい点刻を装う点で区別できる。これまで約20種が知られており、近年、日本および台湾から新たな種が得られている。この属はおもに食糞性であるが、森林や山地に生息している小型種のため、われわれにとってあまりなじみがない。

三輪・中条(1939)は台湾から *O. cameratus* A. SCHMIDT を記録しているが、分布は疑わしい。台北の農業試験所に Kotosho のラベルの付いた本属の個体があるが、一連の混入標本とみられる。

著者が1972年、霧社にて本属の1種を採集し、野村(1973)によって新種とされたものが、現在、唯一の台湾産 *Oxyomus* である。

O. masumotoi NOMURA ムシャマルマグソコガネ*
(写真1)



体長約3mm。暗赤褐色で光沢は弱い。上翅は9条溝。小肩歯を具え、上翅間室には2列の粗大点刻を具える。

直射日光をさけた人・牛糞より得られている。

採集記録：霧社(5, 7月), 松崗(8月)

写真1 *Oxyomus masumotoi* NOMURA

2. *Eupariini*

次の3属が得られているが、いずれも朽木等を食する一群である。

台湾産 *Eupariini* の検索

1(2) 前脛節の先端は直角に切断状で、歯状突起を1個具える。外縁は多くの小歯がみられ、その内の1~2は大きい。

Dialytes HAROLD

2(1) 前脛節の先端は斜めで、歯状突起を具えない。

3(4) 体は軽く膨隆し、頭胸背はほぼ同幅。上翅基部はふちどられない。中胸板は後胸板と同平面か、少し圧せられる。付節は短い。

Saprosites REDTB.

4(3) 体はより強く膨隆し、頭は前胸より幅狭く、上翅基部はしばしばふちどられ、中胸板は常に後胸板より深く位置する。付節は長め。

Ataenius HAROLD

2-1 *Dialytes* フトツツマグソコガネ属

全世界で10種ほどしか知られていない小属である。台湾からは、南西諸島に分布するものと共通種が得られている。

D. foveatus A. SCHMIDT フトツツマグソコガネ

(写真2)

採集記録：南山溪(3, 6, 8月), 六龜(7月)

なお、中根(1960)によれば、台湾産の *Dialytes* は、北ベトナムの *D. canescens* BALTHASAR に近いとしているが、台湾で得られている個体はむしろ *D. foveatus* と考える。

2-2 *Saprosites* ツツマグソコガネ属

本属はヨーロッパおよび中近東を除く全世界より90種あまりが知られ、多くは島嶼に生息するという。台湾より三輪・中条(1939)が1種、野村(1973)は3種を記録している。いずれも特長の少ない種類であり、区別がむずかしい。

S. yanoi NOMURA ヤノツツマグソコガネ*

野村が1939年に台湾より記載したものである。その後、南山溪(10月)からも記録している。次種に近いものらしい。

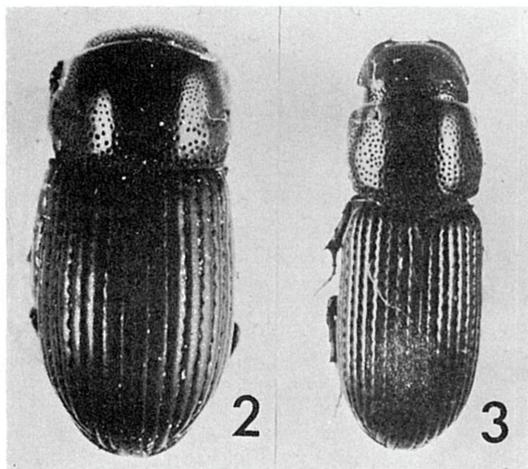


写真 2 *Diallytes foveatus* A. SCHMIDT

写真 3 *Saproscites japonicus* WATERHOUSE

S. japonicus WATERHOUSE

クロツツマグソコガネ (写真 3)

日本各地のみならず、中国、北ベトナムまで分布している種で、台湾からも本島の他、蘭嶼から採集されている。

台湾中部の個体は前胸背の点刻が整っていて、大きい点刻の間に散布されている小点刻はきわめて微小で、数も少ないのに対し、蘭嶼の個体は、粗造で、小さい方の点刻がかなり明らかである。灯火に飛来する。

採集記録：台湾本島各地(7~10月, 12月), 蘭嶼(6, 10月)

S. longethorax PAULIAN ナガムネツツマグソコガネ*
フィリピンのルソンから記載したものであるが、野村(1973)が蘭嶼から記録している。2~2.5mmの小型種。

採集記録：蘭嶼(6~7月)

2-3 *Ataenius* ニセツツマグソコガネ属

Aphodius 属に次ぐ大きな属で、世界に約 250 種が知られている。多くは前属同様に島嶼に分布している。台湾からは次の 1 種が知られている。

A. fukiensis BALTHASAR

フッケンニセツツマグソコガネ

体長 4.5~5 mm。黒色でかなり光沢のある種である。南中国、シンガポール、カンボジア、スマトラなどから知られているが、野村(1973)が台湾より新たに記録した。

採集記録：緑島(7月)

3. *Psammobiini*

12属 200 種が知られている。台湾からは次の 4 属の他、三輪・中条(1939)による *Rhyssmodes* 属の記録(*R. inscitus*)があるが、インド、セイロン等に分布するも

ので、あやしい記録と考える。

台湾産 *Psammobiini* の検索

- 1(6) 中後付節は脛節の長さに近く、ほっそりとしている。細い後脛節端刺はたいいては短かく、第 1 付節とはほぼ同長。
- 2(5) 上翅間室は顆粒等を装う。
- 3(4) 上翅は背面に刺毛を具える。 *Trichiorhyssemus* CL.
- 4(3) 上翅は背面に刺毛を具えない。 *Rhyssemus* MULS.
- 5(2) 上翅の間室は点刻されるのみ(前胸背は通常、縦溝と両側にくぼみを有する)。 *Pleurophorus* MULS.
- 6(1) 中・後付節は脛節より明らかに短かく、三角形に広がる。後脛節の上端刺は、第 1 および第 2 付節の長さぐらいか、さらに長い(前胸背側・後縁に刺毛を列生、縦溝と横隆起および横溝を具える。後脛節の端刺は強壯でしばしば広がる)。 *Psammobius* HEER

3-1 *Pleurophorus* タテスジケシマグソコガネ属

15種あまりが知られている小属であり、野村(1973)が次の 1 種を台湾より記録している。

P. tonkinensis BALTHASAR

トンキンタテスジケシマグソコガネ*

体長 2~2.8 mm。黒褐色で光沢がある種で、墾丁(6, 8月)で採集されている。

3-2 *Trichiorhyssemus* ヒメケシマグソコガネ属

世界で約 20 種記録されている。台湾からは三輪・中条(1938)が 1 種、野村(1973)が 2 種を記録している。また、農業試験所にはこれらと別な種の標本がある。

T. lasionotus CLOUËT

チュウゴクヒメケシマグソコガネ*(写真 4)

体長約 3 mm。黒褐色。前胸背は顆粒を装い、上翅の刺毛は 1 列である。野村(1973)は内湾から本種を記録したが、墾丁にも分布している。BALTHASAR によると北中国と日本(東京付近!?) から知られているという。なお、墾丁産の個体は、*T. lasionotus* の記載に大むね合致しているが、上翅は赤褐色でなくむしろ黒褐色で、肩齒もそれほど強壯でない点など、いくつか気になる点が

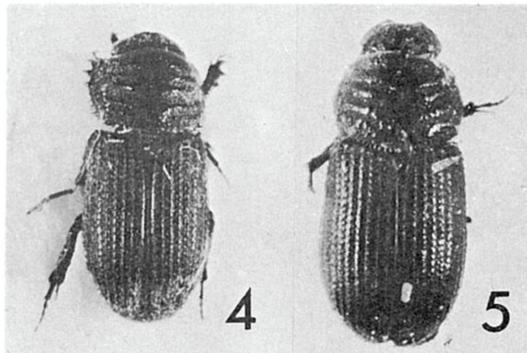


写真 4 *Trichiorhyssemus lasionotus* CLOUËT

写真 5 *Rhyssemus malasiacus* LANSBERGE

ある。

採集記録: 内湾(7月), 墾丁(5月)

T. hauseri BALTHASAR

ランユウヒメケシマグソコガネ*

ボルネオより記載された種であるが、野村によって台湾からも記録された。体長3.5mm。ほっそりとして、黒色、光沢少なく、上翅間室は強く膨隆する種である。刺毛は1列である。

採集記録: 蘭嶼(4月)

**T. hirsutus* CLOUËT スンダヒメケシマグソコガネ*

スンダ列島およびインドから知られている種である。試験場には台南のラベルの個体があるが、例の混入種と思われる。

なお、この他 *T. asperulus* (WATERHOUSE)の標本が試験場にあるが、採集地は不明である。

3-3 *Rhyssemus* コケシマグソコガネ属

世界からおよそ90種が知られているが、台湾からは野村(1973)の2種と、後に著者による1新種の3種が知られている。

R. malasiacus LANSBERGE

マレーシアコケシマグソコガネ*(写真5)

南アジアに広く分布する種で、体長2.8~3.5mm。上翅は長卵形、黒~黒褐色でかなり光沢がある。

採集記録: 墾丁(5, 8月), 緑島(7月)

R. tonkineus BALTHASAR

トンキンコケシマグソコガネ*

体長3mm。長形で両側はほぼ平行、黒褐色で光沢がある。前種に似るが、中後腿節は細く、また、前胸背の条溝は強く深く点刻される。北ベトナムから記載されたものである。

採集記録: 鯉魚潭(8月)

なお、本種と同定した個体は、後述新種と同一の可能性がある。

3-4 *Psammobius* ケシマグソコガネ属

50種あまりが知られているが、台湾からは三輪・中条(1939)が1種を記録し、野村(1973)が2種の新種を追加した。

野村による台湾産 *Psammobius* の検索は次の通り。

- 1(4) 前胸背には横の4溝5隆起を具え、両側と基部外縁は刺毛を装う。
- 2(3) 体は幅広い卵形で強く膨隆し、光沢を有する。暗赤褐色。上翅の第10間室は膨隆し、短い。小型(2.6mm)。
kobayashii NOM.
- 3(2) 長卵形、かるく膨隆し、光沢は弱い。黒褐色。第10間室は平らで、短かめられない。大型(3.6mm)。
subopacus NOM.

4(1) 前胸背は明らかな横の陸起や溝を有さないで、前縁に沿って圧せられた線と、両側中央後方にやや斜めのくぼみと基部に短い縦溝を装う。上翅の第10間室は短かめられず先端1/4まで達す。
indicus HAROLD

P. kobayashii NOMURA コンテイケシマグソコガネ*

P. generosus (REITTER)に似るが、暗色で、頭楯は角ばり湾入し、前胸背の外縁刺毛は細くなく棍棒状で後付節は長いという。

採集記録: 墾丁(4月)

P. subopacus NOMURA

リュウトウケシマグソコガネ*

本種は *P. laevipennis* COSTA に似るが、前胸背の外縁刺毛は棍棒状で、上翅条溝の点刻が粗いという。

採集記録: 緑島(7月)

P. indicus HAROLD インドケシマグソコガネ

熱帯地方に広く分布する種である。なお、農業試験所に本種と同定された標本があるが、産地は不明である。

採集記録: 墾丁(4月)

4. Rhyparini

本族からは5属約50種が知られているという。台湾からはその内の *Rhyparus* 1属が知られている。朽木性と思われる。

4-1 *Rhyparus* カクマグソコガネ属

これまで約30種が知られている。台湾からは三輪・中条(1939)により3種記録され、野村(1973)はそのうちの2種を記録している。

この属の種はよく似ており、また、個体変異も著しい。島嶼性の昆虫であるため分化も進んでいることも考えられるが、むしろ多くの種に分けられているものが実は数系統に整理されると思われる。灯火に飛来する。

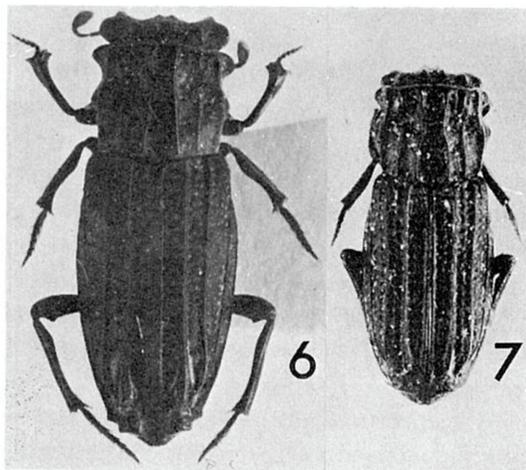


写真6 *Rhyparus peninsularis* ARROW

写真7 *R. helephoroides* FAIRMAIRE

R. peninsularis ARROW

ベナンセスジカクマグソコガネ(写真6)

体長6~7 mmの大型種である。マレーシアおよび台湾で得られている。

採集記録: 鯉魚潭(10月), 南山溪(5~9月), 梅峰(5, 8月), 奮起湖(5, 8月), 墾丁(8月), 知本(8月)

R. helephoroides FAIRMAIRE

ヒメセスジカクマグソコガネ(写真7)

体長3.5~4 mmの小型種。ジャワ, ボルネオの他, 南西諸島, 台湾より採集されている。

採集記録: 南山溪(5~9月), 霧社(5, 8月), 奮起湖(5, 8月), 墾丁(8月), 蘭嶼(6~8月)

これらの他, 三輪・中条(1939)は中型(5~6.5 mm)で中腿節下辺に歯状突起を具えない, *R. philippinensis* ARROW を記録しているが, まだ該当標本を検し得てい

ない。

後記

以上でこれまで知られている台湾産食糞コガネムシについての再検討が終わったことになる。なお, 今後 Aegialiinae (セマグソコガネ亜科) や, すでに解説したグループ*)の新種や新記録種も調査が進むにつれ出てくることも大いに期待できる。

ご指導, ご協力を賜った諸氏に再度, 深く謝意を表したい。

1977年8月15日

*) 後述の新種の他, *Onthophagus tritinctus* BOUCOMONT および *O. neofurcatus* GOIDANICH に似た種が採集されている。これらについては, 追ってあらためて詳しく発表する。

II Description of new species

1. *Onthophagus (Onthophagiellus) taiyaruensis* sp. nov. (Fig. 8)

(Japanese name: Taiyaru-enma-Kogane)

Black to piceous, with femora, tibiae, antennal stalks and palpi more or less reddish, tarsi paler, short hairs on pronotum and on elytra pale yellow. Surface of body rather strongly shining.

Broadly oval, deeply waisted, moderately convex. Head a little broader than long, moderately convergent forwards from rounded genae, with outer margin slightly reflexed and margined, truncate in front, surface almost flattened, slightly convex in middle. Clypeus closely and coarsely punctured, transversely wrinkled in front, genae and vertex rather closely punctured, punctures separated by distance equal to their own diameter, frons more closely punctured. Frontal and genal sutures slightly elevated, the latter scarcely reaching short obsolete bisinuate elevation between frons and vertex.

Pronotum well-convex above, rather closely punctured except near hind angles, punctures separated by one to three diameters, each bearing short hair. Front angles acutely produced and hind ones scarcely angulate, lateral margins strongly rounded and feebly sinuate before base, rather strongly rounded and slightly angular at middle.

Elytra shallowly crenate-striate, striae intervals nearly flat and coriaceous, with two or three rows of setigerous minute punctures.

Pygidium medially convex, coarsely but shallowly and rather closely punctured and pubescent. Metasternum with setigerous punctures, sparse and minute in middle, and a little closer and somewhat ocellated at sides. Each abdominal sternite almost

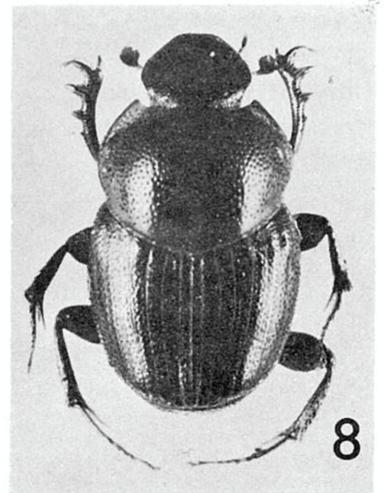


Fig. 8 *Onthophagus (Onthophagiellus) taiyaruensis* sp. nov. (holotype)

smooth, with row of pubescent punctures at base.

Protibiae rather strongly prolonged and incurved in apical portion, with apical three of outer teeth strong and acute, basal one very small and indistinct, terminal spur bold and bent downwards. Basal joint of metatarsi about four times length of the next, as long as total of following four joints, and a little longer than terminal spur. Inner tip of metatibiae produced into short but acute process.

Length: 6 mm.

Holotype: ♂, Wushe, Nantou Hsien, Formosa, 10. VIII. 1975, K. MASUMOTO leg. paratypes: 1♂, ditto, 11. VIII. 1977, K. MASUMOTO leg; 1♂, Sungkang, 23. VIII. 1973, Y. KIYOYAMA leg.

O. taiyaruensis may be separated from the related species *O. crassicollis* BOUCOMONT in having the noticeable sutural elevations between the clypeus, the genae and the frons of each other, the almost flat elytral intervals, and the 1st joint of metatarsi as long as four following combined, and lacking metallic luster on the upper surface.

2. *Aphodius (Phalacrothus) pseudoavunculus* sp. nov. (Fig. 9)

(Japanese name: Kontei-mame-maguso-kogane)

Brown, with anterior margin of head, sides of pronotum, legs, and under surface yellowish brown, disc and a pair of obscure patches at sides of pronotum darker. Head and pronotum rather strongly shining and elytra weakly. Short setae on elytra yellowish.

Oblong and subparallel, moderately convex. Head slightly convex, finely but rather closely and evenly punctured throughout, punctures separated by one or two diameters, except transverse impunctate area at base, with clypeus rather broadly and feebly emarginate at anterior margin, slightly convex in middle before distinct frontal suture, feebly depressed below in front, genae arcuate and a little more strongly produced than eyes.

Pronotum parallel at basal two-thirds, gradually narrowed forwards and feebly sinuate before base, front angles subrectangular, hind ones obtuse, base broadly rounded with fine marginal groove, groovy punctures very minute and tied in row, so small as to be indecipherable until magnified at least 30 times, disc with fine punctures separated by one or two diameters and large ones sparsely scattered between them. Scutellum smooth and nearly flat, subparallel at basal two-fifths.

Elytra with very small humeral teeth, finely striate, striae punctures fine but feebly notching intervals, which slightly convex with setigerous minute punctures in two or three rows, setae shorter and indistinct in middle.

Mesosternum coarsely and closely, metasternum very sparsely and finely punctured, the latter shining in middle, subopaque at sides, abdomen less shining, rather closely punctured with minute yellowish setae.

Basal joint of metatarsi a little shorter than the three following combined and somewhat longer than upper terminal spur of metatibiae, both spurs not same length.

Length: ca. 3.5 mm.

Holotype: ♂, Kenting Park, Pingtung Hsien, Formosa, 31. VI. 1972, K. MASUMOTO leg.



Fig. 9 *Aphodius (Phalacrothus) pseudoavunculus* sp. nov. (holotype)

This new species is somewhat related to *A. (Phalacrothous) avunculus* BALTHASAR from South India, but may be distinguished from the latter by following points: 1) The groovy punctures on the pronotum are so minute that we can scarcely notice them at low magnification. 2) The elytra are armed with small humeral teeth. 3) The elytra are covered with short setae not only at the sides and apical portion. 4) The elytral striae do not become deeper posteriorly.

3. *Rhyssemus nanshanchicus* sp. nov. (Fig. 10)

(Japanese name: Nanzankei-kokeshi-maguso-kogane)

Piceous, with outer margin of clypeus, anterior part of pronotum, legs dark reddish brown, antennae, palpi and tarsi yellowish brown. Upper surface feebly shining.

Elongate, subparallel, strongly convex. Head broader than long, subhexagonal, strongly convex forward and densely tuberculate in middle, almost vertically sloped and obsolete tuberculate in front, clypeus with subangulate each side of moderately deep median emargination, sides arcuate, genae inconspicuous and rounded, frons with rather large hump in middle, vertex with two oblique-convergent obsolete protuberances.

Pronotum 1.3 times as wide as long, approximately half as long as elytra, with sides slightly arcuate at anterior half, feebly sinuate before shallowly emarginate hind angles, entire side margin obtusely crenate, fringed with pale yellow setae, basal one usually very short opposite 3rd elytral, interval then increasingly and noticeably long opposite scutellum, forming crescent-shaped fringe, discal surface with six transverse, surface-flattened ridges, 1st along anterior margin wide but obsolete, and composed of coalescent tubercles, 2nd to 5th much more conspicuous, with surface smooth and very finely punctate, 6th less distinct with coarse and coalescent tubercles, median longitudinal furrow interrupting 4th to 6th and frequently also 2nd and 3rd ridges, 4th usually bent back along median furrow to join 6th and thus enclosing 5th between them, transverse furrow between ridges somewhat coarsely and rugosely punctate, furrow between 3rd and 4th ridges noticeably wider, laterally posterior to explanate area around anterior angles with coarsely tuberculate median swellings, front angles moderately produced and their tips narrowly rounded, front margin slightly arcuate, hind one broadly rounded with marginal groove. Scutellum small, triangular, parallel at basal half, coriaceous, slightly depressed.

Elytra convex, humeri dentate, striae deep and fine, stria punctures almost unnoticed, sutural interval slightly convex, 3rd and 5th also a little convex in posterior part, 2nd to 9th with inner-small, outer-large tubercles in rows, 10th with dentate ridge.

Prosternum and mesosternum closely punctate and finely setigerous, metasternum rugosely punctate at sides, shiny and finely punctate in rest, abdominal sternites with crenate anterior margin, and 2nd to 4th sternites with coarse serrate or zigzagged transverse median line.

First tarsal segment of hind legs a little longer than spur, slightly shorter than three followings combined.

Length: 3.5 mm.

Holotype: ♂, Nanshanchi, Nantou Hsien, Formosa, 9. VIII. 1975, K. MASUMOTO leg. allotype:

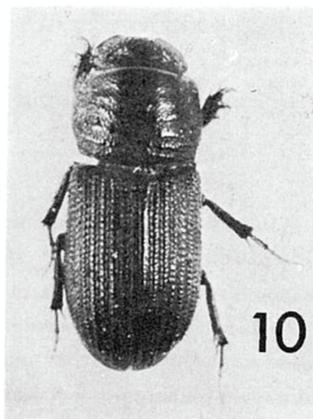


Fig. 10 *Rhyssemus nanshanchicus* sp. nov. (holotype)

♀, ditto, 22. V. 1973, paratypes: 1 ex., ditto, 9. VIII. 1975; 1 ex., ditto., 22. V. 1973

The present species is related to *R. sulcatus* (OLIVIER), but anterior three pronotal carinae are not usually interrupted by the longitudinal furrow and the 2nd to the 9th elytral intervals bear two rows of tubercles.

All holotypes may be deposited in the National Musium of Japan (Tokyo) or other apposite Musium, and paratype are in authers' collections.

III Summary

Since 1971, the author has carried out more than ten research projects on the fauna of Formosa and in particular the coprophagid-beetles in various districts there. A summary of the contents of this serial description*) is as follows:

- 1) A description of three new species and records of hitherto unreported species from Formosa.
- 2) An appraisal of present available descriptions of Formosan coprophagid-beetles as records in the past have sometimes mistakenly dealt with foreign ones as Formosan.
- 3) For easy identification, a systematic classification together with a description of their characteristics, environment, food habit and other new findings.

In writing this serial, the author received kind assistance from many entomologists and private persons and I would like to especially express my graditude to Mr. Sizumu NOMURA, Dr. Takehiko NAKANE, Messrs. Yoshikazu MIYAKE, Masaaki ISHIDA, Kaoru SAKAI, Hajime YOKOYAMA, Kôyô AKIYAMA, Shigeo TSUYUKI, Singo NAKAMURA, Hiroyuki SAKAINO, CHU Yaoyi, CHIU Juichen, CHEN Weishou, LIN Maocheng, TU Chinlong, TU Chinming, HUANG Gang, CHEN Wenlong, and HE Mengchi, and also Mesdms. CHIU Ruichen, Mayumi IMAEDA, CHANG Hsiuhsiang, and Evelyn ANDERSON.

自從1971年以來著者曾經在台灣各地做了十數次有關甲虫類尤其是糞虫類的分佈及生態的研究調查。這份報告書的內容略述如下。

1. 記載在台灣發現了世界上新的三種類及記錄在台灣被首次發現的數種類。
2. 以前在台灣以外棲息的糞虫常被誤認為是台灣產，因此著者在這裡正確地檢討及弁証有關台灣糞虫記錄。
3. 為了使大家能夠簡單地判斷糞虫種名，本報告記載了糞虫之系統分類，身體特徵，生活環境，食性等。

在完成這份論文的階段中曾得到很多有關人士的幫助，其中特別是朱耀沂教授，邱瑞珍主任，陳維壽老師，及，林茂成，杜欽竜，杜欽明，黃綱，陳文竜，何孟基等各位先生，並，張秀香女士，梁燕娟小姐等々の幫忙，使這論文順利完章，著者特借此機會，向各位表示萬二分謝意。

IV 台灣産食糞コガネムシに関する主な文献(新種記載とカタログ)

- 1921 GILLET, J.J.E., Ann. Soc. Sc. Brux., 41 (*Copris* の記載)
 1924 GILLET, J.J.E., Ann. Soc. Sc. Brux., 44 (*Onthophagus* の新種記載)
 1927 GILLET, J.J.E., Bull. Ann. Soc. Ent. Belge. 67 (*Onthophagus* の新種記載)
 1930 三輪 (MIWA, Y.), Ins. Mats., 4 (*Onthophagus*, *Aphodius* の新種記載)
 1931 三輪 (MIWA, Y.), A Syst. Catal. Form. Col. (申虫のカタログ)
 1938 松村 (MATSUMURA, M.), Ins. Mats., 12 (カタログと *Onthophagus*, *Matasha* の新種記載)

*) "A Revision of the Coprophagid-beetles from Formosa" was included in No. 1-No. 3 published in 1976, and No. 4-No. 5 in 1977 in this journal.

- 1939 三輪・中条 (MIWA & CHUJO), Catal. Coleopt. Jap. (Scarabaeidae のカタログ)
 1939 野村 (NOMURA, S.), Nippon no Kôchû, 3 (*Saprosites* の新種記載)
 1941 BALTHASAR, V., Arb. morph. taxon Ent., 8 (*Onthophagus* の新種記載)
 1942 PAULIAN, R., Bull. Soc. Ent. Fr., 58 (*Caccobius* の新種記載)
 1943 JANSSENS, A., Bull. Mus. R. Hist. Nat. Belg., 19 (*Gymnopleurus* の新種記載)
 1951 野村・中根 (NOMURA & NAKANE), Kontyû, 19 (*Aphodius* の新種記載)
 1961 PETEROVITZ, R., Ent. Arb. Mus. Frey. 12 (*Aphodius* の新種記載)
 1965 HOWDEN, Pacific Ins., 7 (*Geotrupes* 新種記載)
 1968 黒沢 (KUROSAWA, Y.), Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo, 11 (*Ochodaeus* の新種記載)
 1973 野村 (NOMURA, S.), Ent. Rev. Jap., 25 (*Trox*, *Bolbocerosoma*, *Phaeochroops*, *Panelus*, *Onthophagus*, *Oxyomus*, *Psammbius* の新種記載と分布の再確認された食糞コガネムシのリスト)

*) この他に加藤 (KATO, M.) 1933 の原色昆虫図鑑(上)が、台湾の糞虫をかなり図示している。

T T S の甲虫関係国内図書

"FRAGMENTA COLEOPTEROLOGICA"

No.1-21 (1961-8) =B5, 86pp. set ¥2,100 (〒320).
 @ ¥ 100 (〒120).

"FRAGMENTA COLEOPTEROLOGICA

JAPONICA" No.1-4. (1964-5) =B5, 16pp.
 日本甲虫小説 set ¥ 400 (〒120).
 @ ¥ 100 (〒120).

両誌共中根先生編集発行の甲虫専門誌で、今ならコンパクトに揃います。

Hayashi, M. A Monographic Study of the Lepturine Genus *Pidonia*, with Special Reference to the Ecological Distribution and Phylogenetical Relation. Part 1-4. (1968-72). =A5, 211pp. 29pls. 9text figs.
 "ハナカミキリ属のモノグラフ(1)~(4)"

(注文コード Re-009) ¥2,500 (〒360).

Hayashi, M. 5 papers on Cerambycidae of S.E.Asia. (1966-74). =A5, 132pp. 8 pls.

"林先生東南アジアのカミキリ別刷集"

(Re-010) ¥1,500 (〒360).

Nomura, S. 4 papers on Scarabaeidae (On the Genus *Serica* from Japan -1972 On the *Sericini* of Japan 1 & 2-1973 & 1976; On the *Sericini* of Taiwan -1974-) B5 132pp. 18pls. 14 text figs.

"ピロウドコガネ系族に関する別刷集"

(Re-006) ¥2,500 (〒360).

ご注文はハガキに署名・捺印の上お申し越し下さい。代金は図書到着後5日以内に(18才以下は保護者と連名で。)

お近くの方は小社(小田急経堂駅前)へ!

昆虫関係図書常時500タイトル以上在庫

水曜定休・平日10~19時・日曜祭日13時~17時

JCBカード加盟店 在庫リスト(〒100)

Kurosawa, Y., T. Nakane & M. Satô Check-List of Coleoptera of Japan. Ser.1.-1976-

No.1 Lucanidae; No.2 Passalidae; No.3 Cicindelidae; No.4 Nydrochidae; No.5 Georiddidae; No.6 Psephenidae & No.7 Limnichidae.

日本産甲虫目録 第1集 (No.1~7) 7冊セット(CJ-s01)
 ¥ 800 (〒120).

甲虫談話会編集・発行の目録で、各属の模式種、各種の原記載文献、模式産地、国内分布が記されています。発行部数が少ない出版物ですので発行の都度お求め下さい。

"NIPONIUS" -Acta Coleopterologica, adita a

Dr.M. Chujo. vol.1 (1959-1962). =A5, 116pp.

No. 1 ¥ 70.	No. 2 ¥ 140.	No. 3 ¥ 200.	No. 4 ¥ 200.
No. 5 ¥ 50.	No. 6 ¥ 520.	No. 7 ¥ 80.	No. 8 ¥ 70.
No. 9 ¥ 50.	No.10 ¥ 80.	No.11 ¥ 50.	No.12 ¥ 50.
No.13 ¥ 180.	No.14 ¥ 120.	No.15 ¥ 140.	No.16 ¥ 100.
No.17 ¥ 140.	No.18 ¥ 70.	No.19 ¥ 120.	No.20 ¥ 70.
Index ¥ 70.			

vol.2 (1963-8). =A5, 75pp.

No. 1 ¥ 50.	No. 2 ¥ 200.	No. 3 ¥ 120.	No. 4 ¥ 70.
No. 5 ¥ 200.	No. 6 ¥ 70.	No. 7 ¥ 100.	No. 8 ¥ 180.
No.10 ¥ 70.	No.11 ¥ 240.	No.12 ¥ 80.	No.13 ¥ 70.

中条先生編集発行の甲虫専門誌です。Fragmenta 同様毎号重要論文が掲載されています。

松本むしの会 長野県のカミキリムシ B5, 212pp. 2colour.
 ¥1,500 (〒400).

昆虫洋書・地方図書は専門の小社へ

東京通販サービス社

〒156 東京・千歳郵便局私書箱33号

小田急経堂ビル12F 1221号

☎ (03)426-6012 郵便振替 東京0-73,156